



公益社団法人

日本語教育学会

2017 年度第 8 回支部集会【東北支部】開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

共催：東北大学 高度教養教育・学生支援機構

開催日：2017 年 12 月 10 日（日）

会場：東北大学川内キャンパス講義棟 C 棟 3F（C302・C306 教室）

参加者：37 名（会員 25 名・一般 11 名）

東北支部では、今年度の支部集会を東北大学で開催しました。今回は、研究発表のみを公募し、5 件の発表がありました。また、「今後の東北支部集会の在り方について」というテーマで、東北のニーズに合った、参加者がより満足できる活動にしていきたいにはどのようにしたらよいかを参加者と共に話し合いました。話し合いでは、東北地区の日本語教育機関や組織の知見や実践、研究などを共有できるネットワークづくりをしたいという意見が多く寄せられました。



今後の支部集会について



研究発表



午後のパネルディスカッション

支部集会と並行して「日本語学習支援ネットワーク会議 2017 in 仙台」と「子どもの日本語教育研究会」も同時に開催されました。午後にはこの 2 つの会が主催、日本語教育学会が後援で、パネルディスカッション「外国につながる子どもと家族が地域で生きるといこと」が行われました。パネルディスカッションには全国各地から 200 名以上の参加があり、地域につながる外国人の子どもや家族への関心の高さがうかがわれました。

3 つの会を同じ会場で同時に開催するという初の試みでしたが、参加者が分散してしまうというデメリットがありました。参加者からは、同時開催は分かりにくい、別の会にも参加したかったなどの意見もあり、今後このような形態で実施する場合には、それぞれの会に参加できるように、時間をずらして開催するなどの工夫が必要であると感じました。

東北支部では、地方の会員が研究発表できる場を年 1 回提供すること、地域に密着したテーマで日本語教育に何らかの形でかかわる関係者が集まる場を提供すること、この 2 つの場の提供により、地域のネットワーク構築を目指すことを支部活動の重要な柱として積極的に活動していきたいと考えています。

最後になりましたが、この度の支部集会の開催に際して会場を提供していただいた東北大学および運営に携わっていただいた関係者のみなさま、発表者のみなさま、参加者のみなさまに心よりお礼申し上げます。

（報告者：支部活動委員 小河原義朗・中川祐治・高橋亜紀子）